

100

つなぐ「奉仕の心」これから

2024年向陽高等学校創立100周年



風に向かって

学校法人向陽学園

歴史編集室発行

TEL0957(52)3210

KOYOファイト!

長崎リハビリテーション学院

“挑戦と変化”で次代の人材を育てる

開設39周年

長崎県で1番、九州で2番目設立！ 県内唯一3学科4コース！

TEL0120-635-636

PT Physical Therapy:1
理学療法学科(一部)

支え合う仲間と手厚い指導



私がこの学院を選んだ理由は、理学療法士を目指す上で3年という大学より短い期間で知識と技術を学び、臨床現場に出てその技術を磨けるということに魅力を感じたからです。

また、県内で唯一「理学療法学科」「作業療法学科」「言語療法学科」の3つが揃っており、合同授業などを通して他学科への理解を深め、各部門の専門的なアプローチの仕方なども間近で見られるのは長崎リハビリテーション学院だけだと思ったからです。

理学療法学科(一部)の特色は、同じ志を持った切磋琢磨し合える仲間や、どんな時でも手厚く指導してくださる先生方がおられ、メリハリをつけて楽しく学び高め合える事です。学ぶ事のおもしろさと理解できた時の喜びを感じ、それをみんなで分かちあう事ができます。さらに生徒一人一人が強い芯を持っており、迷わず背中を押してくださる先生方もいて、支え合いながら自分なりのペースで目標を達成できる事が大きな特徴です。

理学療法学科一部 3年 城戸 翔平

理学療法セミナー



普通救命講習II



理学療法評価学

(徒手筋力検査)



疼痛理学療法

PT Physical Therapy:2
理学療法学科(二部)

働きながら助け合い学ぶ

2018年度に入学して現在3年生になりました。最終学年という事もあり、理学療法士になるために臨床実習があり2月には国家試験も控え勝負の年を迎えています。私が通っている夜間部の特徴は、昼間働きながら夜間に講義を受ける事ができる所にあります。クラス内は社会人経験者や高校卒業したばかりの現役学生など年齢は異なりますが、いろいろな考えの中で皆仲良く助け合って勉強に取り組んでいます。

また、クラス内のほとんどが昼間の仕事はリハビリの臨床現場で、リハビリ助手や介護福祉士として働いていました。その中で理学療法士の仕事を見る機会が



できた経験は大きいです。私も、リハビリの助手をしながら夜に講義を受けていました。3年生になると、夜間部の学生であっても講義は昼間に変わります。臨床実習もあるので昼間の仕事は退職して勉強に努めています。最終的な目標である国家試験に合格して理学療法士になれるよう日々努力しているところです。

理学療法学科二部 3年 松尾 諭

夜間部



物理療法学

(極超短波)



総合臨床医学



解剖生理学



KOYOファイト!

長崎リハビリテーション学院

“挑戦と変化”で次代の人材を育てる 開設39周年
3年で国家資格取得！ 就職率100%！

TEL0120-635-636



OT Occupational Therapy 作業療法学科

患者様第一の作業療法士に



私は将来、作業療法士として活躍したいと思っています。その理由は、元々物を作ることや人とかがわることが好きで、それを活かして、障害の有無に依らず、たくさんの人々を笑顔にできる仕事に就きたいと思ったからです。

本学院の講義や実習を通して、身体の仕組みと障害との関連付けを行い、それがどのように生活の中に影響しているかを考えました。そして、患者様が過ごしやすい生活を送るための介入方法や在宅支援、介護保険等についても学びました。

また、患者様の精神面を見たり、家族や医療従事者との連携を行ったりなど、幅広い分野で活躍できる作業療法士の役割について深く学び知ることができました。現在は、グループワークで患者様を想像しながら、動作分析やICF作成を行い、国家試験問題について詳しく解説していただきながら学んでいます。本学院で学んだ事を臨床で応用的に活かしていきたいながら、私らしく、患者様を第一に作業療法を提供できるよう、日々努力していきます。

作業療法科3年 向井 静来

ST Speech Therapy 言語療法学科

相手の心に寄り添う

私は本学院のオープンキャンパスに参加し、3つの学科について説明を聞きました。当時高校生だった私は、言語聴覚士という職業に魅力を感じたことを覚えています。高校生までは部活動中心で生活してきた私にとって、入学してからの勉強は想像より何倍も大変でしたが、部活動で培ってきた精神力で逃げずに頑張ろうと思えました。そして先生方の話や、見学実習、短期実習での体験から、言語聴覚士は患者様にとってどうあるべきかを考えることや、勉強だけ出来ても優秀な言語聴覚士になれるとは限らないこと、相手の心に寄り添い、その人の立場になって考えることが本当に大切だと実感しました。現在、3年生になり、本来ならⅠ期目の長期実習中でしたが、コロナウィルスの影響で校内実習という形になりました。校内実習では、主にグループで活動し、お互い意見を交換して皆で良い発表を作ろうと頑張っています。今の貴重な体験を無駄にすることなく、Ⅱ期目の実習に活かしていきたいと思います。目の前の事をひとつずつ丁寧に実践していくことが将来に繋がると信じて励んで行きたいです。

言語療法科3年 山中 祥聖



基礎作業学技法分析実技



老年期障害治療学



言語聴覚障害概論



呼吸リハビリテーション



作業療法評価学



精神障害治療学



成人聴覚障害1

言語発達遅滞
(検査実習)